

いしのまきし

石巻市



■石巻市暮らしのデータ

- 人口:138,538人
- 世帯数:61,919世帯
- 保育所の数:50所
- 小学校の数:33校
- 中学校の数:18校
- 病院の数:8院
- 一般診療所の数:161所

令和4年1月末日時点



お問い合わせ

●石巻市復興企画部SDGs移住定住推進課

☎0225-95-1111 (代表)

〒986-8501 宮城県石巻市穀町14-1

ホームページ <http://www.city.ishinomaki.lg.jp/>

移住に関するページ <http://ishinomaki-iju.com/>

海と緑が豊かな 市民が明るく元気なまち

石巻市は、宮城県の北東部に位置し太平洋に面した、県下第2の都市です。海の幸や山の幸の宝庫で、夏は涼しく冬は雪が少ない暮らしやすい土地です。JR仙石線、石巻線、気仙沼線や三陸自動車道の石巻河南ICが通っているので交通のアクセスも便利で、東日本大震災以降、全国からの支援者が訪れ、移住する方も多く住みやすいまちです。



〈三陸復興国立公園〉2015年3月31日に三陸復興国立公園に指定されました。



〈石巻川開き祭り〉
毎年7月下旬～8月上旬に行われる、90年続く由緒ある祭り。



生活交通情報

仙台市との距離感

- ・電車:約60分(JR仙台駅～石巻駅(仙石東北ライン))
- ・バス:約75分(仙台駅前～石巻駅前(高速バス))
- ・車:約60分(仙台南IC(東北自動車道)～石巻河南IC(三陸自動車道)～国道108号線)

地域内の移動手段

- ・電車:仙石線、仙石東北ライン、石巻線、気仙沼線が通っており、市内には13の駅がある。
- ・バス:路線バスに加え、住民バス、集合タクシー等(10地区)を運行
- ・車:石巻市役所から三陸自動車道の石巻河南ICまで車で約15分

＼こんな人にちょうどいい！／

海が好きな方

出産・子育てを
考えている方

マンガが好きな方

住まい

空き家情報

- 空き家バンクを設置し、空き家等の情報をホームページで紹介
- SDGs移住定住推進課
☎0225-95-1111(代表)

住宅取得支援

- 移住に伴い、住宅を取得または居住する賃貸住宅を改修する場合に補助
※補助額：取得の場合最大150万円、改修の場合最大50万円
- SDGs移住定住推進課
☎0225-95-1111(代表)

子育て

医療費助成

- 0歳から18歳到達年度末日まで入院・通院に係る医療費を助成
- 保険年金課 ☎0225-95-1111(代表)

生活支援

- 仕事や病気などの理由により、昼間保護者が不在になる家庭の小学校1年生から6年生までの児童が、放課後に過ごす生活の場として、小学校の余裕教室や校舎外クラブ専用室等において放課後児童クラブを開設
- 子ども保育課 ☎0225-95-1111(代表)

相談・交流支援

- 父親の育児参加を推進するため、「石巻市父子手帖」を配布(母子健康手帳交付時及び3歳までの子どもがいる市民の方で希望する方)
- 健康推進課 ☎0225-95-1111(代表)
- 地域子育て支援センターを各地区12ヶ所に設置。子育て世代包括支援センターでは子育てメール相談等を実施
- 子どもの声を反映し、運営を行う子どもセンター「らいつ」(乳幼児から18歳までが利用できる児童館)を設置
- 子育て支援課 ☎0225-95-1111(代表)

育児ヘルパー事業

- 産前産後における家事育児の負担軽減を図るため、育児ヘルパーを派遣し、育児や家事を手伝う
※期間：母子健康手帳交付後から産後6か月まで
※回数：原則20回以内、1日2回まで
※時間：1回2時間まで
※時間帯：平日午前9時から午後5時まで
利用料金：250円/時間
- 子育て支援課 ☎0225-95-1111(代表)

ファミリーサポート事業

- 「お子さんを預かってほしい方」と「お子さんを預かることができる方」が、お互いに信頼関係を築きながら子どもを預けたり、預けたりする、地域で主体的に行う子育て援助
※利用対象：生後2か月～小学6年生まで
※利用料金：600～700円/時間
- ファミリーサポートセンター
☎0225-23-7407



仕事

就職支援

- 医療・介護・福祉の資格(内容については要問い合わせ)を有し、市内に居住及び正規就労した方の借り入れた奨学金の返還金額の一部を最長3年間助成(年間上限20万円)
- 保健福祉総務課 ☎0225-95-1111(代表)

起業支援

- 本市創業支援事業計画に位置付けた特定創業支援事業の支援を受け、市の発行する証明書の交付を受けた創業(第二創業を含む)を行う事業者の方々に、対象経費について100万円を上限に補助
- 産業推進課 ☎0225-95-1111(代表)

就農支援

- 市内で就農する認定新規就農者・認定農業者(経営開始後5年以内)の農地の取得または賃借に要する経費(10a当たり5千円)及び農地の耕作に要する小型管理機等の導入に要する経費の一部を助成(上限25万円)
- 農林課 ☎0225-95-1111(代表)

就漁支援

- 空き家を活用したシェアハウスを拠点に漁業体験型研修を実施しているほか、就業者の資格取得経費や独立のための漁具購入費等の経費の一部を補助
- 水産課 ☎0225-95-1111(代表)

相談・体験

移住相談窓口

- 移住に関する相談を受付しているほか、まちの魅力や地域の方々と交流できる企画ツアーを実施
- SDGs移住定住推進課
☎0225-95-1111(代表)

お試し移住

- 2泊3日から7泊8日の間、本市に実際に住んでもらい、住み心地や魅力を体感してもらう(滞在中、移住コンシェルジュによるガイドツアーを実施)
中心部と半島部に趣の異なる2つの施設を用意している
- SDGs移住定住推進課
☎0225-95-1111(代表)

その他

結婚支援

- 結婚に伴う経済的負担を軽減するため、婚姻時における年齢が夫婦とも39歳以下の新婚世帯に対し、結婚に伴う新生活のスタートアップに係るコスト(住宅の取得費用、新居の家賃、引越費用等)を支援
補助上限額：1世帯当たり30万円、ただし、夫婦共に29歳以下の場合は60万円
- 地域振興課 ☎0225-95-1111(代表)

けせんぬまし

気仙沼市



■気仙沼市暮らしのデータ

- 人口: 60,047人
- 世帯数: 26,199世帯
- 保育所の数: 16所
- 小学校の数: 14校
- 中学校の数: 11校
- 病院の数: 4院
- 一般診療所の数: 29所

令和4年1月時点



お問い合わせ

●気仙沼市震災復興・企画部 震災復興・企画課

☎0226-22-6600(内線314)

〒988-8501 宮城県気仙沼市八日町1丁目1番1号

ホームページ <https://www.kesenuma.miyagi.jp/>

移住に関するページ <http://www.minato-kesenuma.com/>

海と生きる Stay with the ocean

気仙沼市は宮城県北東部の太平洋岸に位置し、四季を通じて静穏な気仙沼港は、各地へ赴く漁船の一大基地となっており、魚市場には三陸沖はもとより、世界の海で漁獲された魚介類が並びます。

気仙沼の代名詞ともいえるフカヒレや水揚げ日本一を誇る生鮮カツオなどの海産物のほか、地元特産の農産物やB級グルメとして人気の気仙沼ホルモンなどがあり、気仙沼市は美食の街としての一面も持っています。



〈豊かな海の幸〉世界の海からの贈り物



〈深紅に染まる徳仙文山〉国内最大級の山ツツジの群生地

▶ 動画もチェック!

気仙沼市PR, 来て・観て・感じて気仙沼, 気仙沼 移住 で検索

🚗 生活交通情報

仙台市との距離感

- ・バス: 約160分 (JR仙台駅～南気仙沼駅 (高速バス))
- ・車: 約120分 (仙台港北IC (仙台東部道路)～気仙沼港IC (三陸自動車道)～県道5号)

地域内の移動手段

- ・鉄道・バス高速輸送システム (BRT) として、大船渡線・気仙沼線が運行しています。
- ・バス: 路線バス・乗合タクシーを運行している。
- ・車: 三陸自動車道の気仙沼中央IC・気仙沼港ICまで車で約10分 (JR気仙沼駅から) 市内にはバス等も運行していますが、生活上、自家用車の必要性は高い地域です。

＼こんな人にちょうどいい!／

海も山も川も。
ゆったりと暮らしたい方

まちのためにスキルを活かしたい方

人と人とのつながりぬくもりを大切にしたい方

空き家情報

●空き家バンクの設置

気仙沼市移住・定住支援センターMINATO



■震災復興企画課 ☎0226-22-3408

リフォーム支援

●空き家バンク登録物件に関する改修費用等を助成(要件あり)

■震災復興企画課 ☎0226-22-3408



子育て

医療費助成

●0歳～高校3年生の子どもの健康保険適用分の医療費の一部負担金を助成

■保険年金課 ☎0226-22-3419

●父(母)がいない児童を養育している母(父)とその児童、または両親のいない児童に対し、児童が18歳に達した最初の3月まで医療費の一部負担金を助成(所得制限あり)

■子ども家庭課 ☎0226-22-3429

出産支援

●母子健康手帳・父子健康手帳の交付

●妊婦健康診査(14回分)の健診費用助成(多胎妊婦については6回分を追加助成)

●特定不妊治療費に要する費用の一部を助成(1回につき上限15万円まで)

■健康増進課 ☎0226-21-1212

●パパママ教室等妊娠期～出産・子育てに関する事業

●気仙沼市に誕生した新生児の保護者に対し、新生児1人につき3万円の気仙沼商品券を贈呈

●出産後の母親への育児支援(家事支援を除く)や健診等の付添い等のファミサポ活動を行うとともに、出産後1年までの援助活動の利用料の全額を助成(月上限額2万円、ファミサポの会員登録が必要)

■子ども家庭課 ☎0226-22-3429

子育て支援

●ワクワク子育てプログラム

妊娠期・出産・子育て期のパパ・ママが安心して楽しく子育てができるよう、次の事業を実施

子育て支援セミナー／先輩ママとの交流会／産後ママ交流事業／父親の育児参加促進事業／おでかけ児童館

●子育て情報誌・アプリ「ぼけっと」

市の子育て支援情報を冊子にし、毎年発行、アプリでは子育て情報誌の電子書籍が閲覧できるほか、市の子育てイベントや子育て情報がプッシュ通知で届く

Android版



iOS版



●満1歳のお誕生日記念にお子さんと保護者に対して、絵本をプレゼントするとともに子育て情報の提供を行う

●生後2ヵ月から小学校就学前までの児童を持つ保護者を対象にお子様連れでも安心して健康診査を受診できるよう、市の総合健診会場で託児を行う

- 保護者が病気や仕事の都合等により、お子さんの養育が困難な場合に、一時的にお預かりする事業

■健康増進課 ☎0226-21-1212

■子ども家庭課 ☎0226-22-3429

相談・交流支援

- 子育て世代包括支援センター
妊娠期から子育て期までの切れ目のない総合的相談の実施

- パパ・ママ教室、新生児訪問、離乳食・幼児食に関する教室

■健康増進課 ☎0226-21-1212

- 子育てタウンミーティング
子育て中の市民や子育て支援に関わる方が、日ごろ考えている子育てに関する課題や不安について情報交換を行う

- ファミリー・サポートセンター(ファミサポ)
子育ての相互援助活動を支援

- 子育て支援センター
気仙沼地区(気仙沼児童センター内)と本吉地区(津谷保育所内)に設置、乳幼児親子の遊び場や交流、育児相談などを実施

- 児童センター・児童館
気仙沼児童センターのほか、市内に4か所に(鹿折、赤岩、大島、鮎立)児童館を設置、乳幼児親子から高校生までの遊びや居場所、世代間交流を実施

■子ども家庭課 ☎0226-22-3429

- 子育てほっとサロン
子育て中の親子を対象として、子育ての不安や悩みを気軽に話せ、情報交換や仲間づくりを目的に、親子で楽しめるよう人形劇や体操講話などを実施

■生涯学習課 ☎0226-22-3442

就学・教育支援

- 一定の要件を満たす高等学校、高等専門学校、大学及び専修学校の生徒、学生に対して、奨学金を貸付

- 小・中学校の就学に必要な経費の負担が困難と認められる家庭に対する助成制度あり

■学校教育課 ☎0226-22-3441

- 第3子以降の小学校入学時に、児童一人につき3万円を支給

■子ども家庭課 ☎0226-22-3429



就職支援

- U・Iターンや新規就職、他業種からの介護職への転職、1年以上離職していた介護従事者が就職する場合に助成金を交付するほか、U・Iターンにより市内に住所を移す場合の経費の一部を助成(適用要件あり)

■高齢介護課 ☎0226-22-6600

- 市内の保育施設等へ就職し、1年以上の雇用契約となっている、保育士・幼稚園教諭等の有資格者に対し、助成金を支給(10万円/人)

- 奨学金を利用して保育士・幼稚園教諭資格を取得した方が、市内の保育施設等に就職した方に対し、奨学金の返済額の一部を補助(奨学金返済額の1/2(上限10万円)を補助。ただし3年以上就労すること)

■子ども家庭課 ☎0226-22-3429

起業支援

- 地域資源の活用、地域課題の解決を伴う新規性のある事業を新たに展開・起業する方に対し、事業に係る経費の1/2を補助（上限1,000万円）
- 産業戦略課 ☎0226-22-3432

就農支援

- 新規就農者に対して農業次世代人材投資資金を交付、各種要件あり
- 農林課 ☎0226-22-3439

相談・体験

移住相談窓口

- 都市部からの移住・定住に向けた各種交流イベントも開催している
- 気仙沼市移住・定住支援センターMINATO
☎0226-25-9119



その他

結婚支援

- 結婚新生活支援として家賃・改修費用等の一部を助成(適用要件あり)
- 婚活イベントの運営と、参加者の交通費補助
- 震災復興企画課 ☎0226-22-3408



ひがしまつしまし

東松島市



東松島市暮らしのデータ

- 人口：39,763人
- 世帯数：16,015世帯
- 保育所の数：9所
- 小学校の数：8校
- 中学校の数：3校
- 病院の数：2院
- 一般診療所の数：34所

令和2年2月時点



お問い合わせ

●東松島市復興政策部復興政策課

☎0225-82-1111(内線1232)

〒981-0503 宮城県東松島市矢本字上河戸36番地1

ホームページ <http://www.city.higashimatsushima.miyagi.jp/>

移住に関するページ <https://www.city.higashimatsushima.miyagi.jp/index.cfm/36.html>

人育み 人輝く 東松島 ～心ひとつに ともに未来へ～

東松島市は仙台市の北東に位置し、東は石巻市、西は松島町、南は太平洋に面しています。日本三景「松島」の東端に奥松島を望み、海と山と豊かな自然に囲まれたまちです。また、松島基地所属の航空機「ブルーインパルス」が空を彩ります。気候は、夏涼しく、冬は雪が少ないので暮らしやすい土地です。

交通アクセスは市の中央を鉄道や三陸自動車道が縦断しており、仙台までの通勤・通学も比較的容易です。子育てや教育、防災にも力を入れ、様々な支援を行っています。



〈大森からの風景〉日本三景「松島」の東端にあるもう一つの「松島」～奥松島～



〈ブルーインパルス〉絵画のような美しさで観る人々を魅了するブルーインパルス

動画もチェック!

東松島市観光PR動画、2019みやぎふるさとCM大賞銅賞受賞 [で検索](#)

生活交通情報

仙台市
との
距離感

- 電車：約50分(JR仙台駅～JR矢本駅(仙石東北ライン)),約35分(JR仙台駅～JR野蒜駅(仙石東北ライン))
- 車：約35分(仙台東IC(仙台東部道路)～矢本IC(三陸自動車道))

地域内の
移動手段

- 電車：JR仙石線が通っており、市内には8つの駅があります。
- バス：市内全域を運行範囲とするデマンド型乗合タクシー(らくらく号)を運行しています。
- 車：三陸自動車道はインターチェンジが3か所あります。

＼こんな人にちょうどいい!／

海や山が好きな方

交通の便が良いまち
(仙台市や石巻市に通勤・通学)
に住みたい

穏やかな気候を
好む方



空き家情報

●空き家、空き地の情報をホームページ等で紹介

※物件見学や交渉には事前の利用登録が必要

■復興政策課 ☎0225-82-1111(内線1264)

住宅取得支援

●定住化促進事業費補助金：市外から移住し、住宅を取得する方に対し住宅取得費の形態(新築・中古での取得、市内・市外事業者の利用等)により25万円～100万円を補助

※当補助金を利用する方は、条件により【フラット35】地域活性化型住宅ローンの利用可能

●空き家バンク補助金：空き家バンクを利用し、売買又は賃貸にて移住した方に対し引越し費用として最大15万円を補助。売買の場合、定住化促進事業費補助金との併用が可能

■復興政策課 ☎0225-82-1111(内線1264)



医療費助成

●子ども医療費助成：18歳到達年度末までの全ての児童の医療費を全額助成

●母子父子家庭医療費助成：母子(父子)家庭の母(父)及びその子ども(18歳到達年度末まで)の医療費を一部助成(要件あり)

■子育て支援課 ☎0225-82-1111(内線1420)

出産支援

●特定不妊治療費助成：特定不妊治療(体外受精または顕微受精)に要する費用の一部を助成(1回の治療につき15万円まで)

■健康推進課 ☎0225-82-1111(内線3105)

育児費用負担軽減

●多子世帯の負担軽減：兄弟姉妹で保育園に入所する場合、保育料を軽減(第2子1/2、第3子以降無料、幼稚園・保育園の併用可能)

■子育て支援課 ☎0225-82-1111(内線1182)

生活支援

●ファミリーサポート事業：地域内で子育ての支援を受けたい方と支援できる方をマッチング(子どもの一時預かりや送迎など)

※利用対象：生後2か月～小学6年生までのお子さんがいる保護者の方

※利用料金：600～700円/時間

■ファミリーサポートセンター

☎0225-84-2676

相談・交流支援

●子育て支援センター(あいあい(鳴瀬地区)、ほっとふる(矢本地区))：どなたでも自由に、無料で利用できる遊び場で、子育てについての情報提供や相談に対応。子ども達はのびのび遊び、親同士は子育ての悩みなどについて気軽に交流できます

■あいあい ☎0225-87-2338

■ほっとふる ☎0225-84-2676

就学・教育支援

- 海と森の学校：子どもたちの心のケア・命の教育・ふるさとを大事にする心を育むため、豊かな自然環境を活用した学校づくりを推進しています

宮野森小学校に隣接する「復興の森」には、ツリーハウス・サウンドシェルター・展望デッキなどの活動拠点があり、自然の中で生態系を学べる環境があります(3年生の総合的な学習の時間で実施)

■教育総務課 ☎0225-82-1111(内線1261)



仕事

就職支援

- 勤労者生活安定資金融資：市内に1年以上お住まいの方または市内同一中小企業に1年以上お勤めの方に対し、教育資金や生活資金等の融資あつせん

■商工観光課 ☎0225-82-1111(内線2163)

- 奨学金返還支援：看護師等の資格を有し、市内医療機関等で正規雇用された方に対し、学生時の奨学金返還額の一部を最大5年間助成(年間上限最大20万円)
※市外在住の方にも助成制度あり

■高齢障害支援課

☎0225-82-1111(内線1186)

起業支援

- 中小企業育成融資：市内において事業資金を必要とする中小企業者に資金の融資あつせん(助成(上限2千万円))

- 創業支援ワンストップ相談窓口：創業支援のための窓口を設置。各関係機関と連携を図りながら、創業を希望される方の様々な相談へ丁寧に対応

- 創業支援補助金：市内で新たに創業・第二創業する方に対し、その経費の一部を補助。(新規創業の場合：補助率2/3、上限250万円、第二創業の場合：補助率1/3、上限250万円)

■商工観光課 ☎0225-82-1111(内線2163)

就農支援

- 農業次世代人材投資事業補助金：認定農業者に対し、経営が軌道に乗るまで最長5年間給付金を支給(最大年額150万円)
このほか市の独自補助として5年間給付金を別途支給(最大年額30万円)

- 青年等就農資金：新たに農業経営を開始する認定新規就農者に対し、無利子資金の融資をあつせん(最大3千7百万円)

- 新規就農者技術習得管理施設(あおみな)：新規就農を希望する方に対し、宿泊施設を提供(個室利用500円/日から)

■農林水産課 ☎0225-82-1111(内線2140)

相談・体験

移住相談窓口

- ワンステップ窓口：移住・定住に関する情報を集約した窓口を設置。若者、子育て世代、中高年世代、退職者など一人ひとりの希望に応じた情報提供及び支援を行い、移住への第一歩を後押し

■復興政策課 ☎0225-82-1111(内線1264)

お試し住宅

- お試し移住：本市への移住に興味がある方を対象に、3日～7日の間で市内の「あおみな」が「つながる家」のどちらかの施設に宿泊滞在いただき、東松島のライフスタイルを体験してもらうもの。移住コーディネーターが体験等をコーディネートします（コーディネーター支援料として5,000円必要）

■復興政策課 ☎0225-82-1111(内線1264)

その他

結婚支援

- 婚活イベント：年2回程度、男女の出会いの場として婚活パーティー及び婚活プロフェッショナルからの事前セミナーを実施、マッチングシステムを運用し、登録した男女を個別に「マッチング」させ、引き合わせる

■市民協働課 ☎0225-82-1111(内線3805)

- 結婚新生活支援：新婚世帯に対し、住宅購入又は賃貸住宅費用、引越費用を助成（上限30万円）

■子育て支援課 ☎0225-82-1111(内線1420)



おながわちょう

女川町



■女川町暮らしのデータ

- 人口: 6,081人
- 世帯数: 2,988世帯
- 保育所の数: 2所
- 小学校の数: 1校
- 中学校の数: 1校
- 一般診療所の数: 1所

令和4年1月末時点



お問い合わせ

●女川町企画課

☎0225-54-3131

〒986-2265 宮城県牡鹿郡女川町女川一丁目1番地1

ホームページ <https://www.town.onagawa.miyagi.jp/>

移住に関するページ <http://onagawa-kikkake.jp/program/>

あたらしいスタートが 世界一生まれる町へ。

始発駅の町、女川。この町からスタートしているのは、列車だけではありません。仕事も駅も商店街も、そして人も、マイナスから立ち上がり、あたらしいスタートを切っています。町も、人も、いつだってスタートできます。

豊かな海、山、川に囲まれたこの町には、あたらしいスタートに挑戦している人たちがいて、あなたのスタートを応援するあたたかい人たちがいます。女川は、すべての人のあらゆるスタートを応援する町です。

動画もチェック!



〈女川駅前レンガみちから見る初日の出〉女川から新しい一年をスタートしよう。



〈女川駅・女川温泉ゆぼっぼ〉駅舎と温泉の合築施設。

生活交通情報

仙台市
との
距離感

- ・電車: 約90分 (JR仙台駅～石巻駅 (仙石線)～女川駅 (石巻線))
※JR仙石東北ライン利用による仙台駅直通便も利用可能
- ・車: 約75分 (仙台東IC (三陸自動車道)～石巻女川IC (三陸自動車道)～国道398号線)

地域内の
移動手段

- ・バス: 路線バスに加え、町民バス (1日3便から4便運行。1回乗車200円、高校生以下無料など) を運行している。
- ・車: 三陸自動車道石巻女川ICまで車で約30分
- ・定期航路: 出島、江島行き (1日3便)

＼こんな人にちょうどいい!／

海と山の近くで
暮らしたい方

新鮮な魚介類を
楽しみたい方

街づくりに
関わりたい方



空き家・空き地情報

- 町のホームページに「空き家・空き地」の情報を掲載
- 町所有の分譲宅地の情報を町のホームページに掲載
- 企画課 ☎0225-54-3131

住宅取得支援

- 町内に土地と住宅を両方取得した場合300万円、既存住宅の建替えや、住宅取得のみの場合225万円、中古住宅の取得の場合150万円を助成
- 企画課 ☎0225-54-3131
- 住宅用高効率給湯器の購入へ最大5万円、太陽光発電設備の設置へ最大12万5千円を助成
- 町民生活課 ☎0225-54-3131

リフォーム支援

- 木造住宅の耐震診断や耐震改修計画書の作成などに係る費用の一部を助成
- 上記助成を受けた後行った改修設計および工事に係る一部を助成(最大100万円、要件により加算あり)
- 危険度の高いブロック塀などの除却費用の一部を助成(最大30万円)
- 建設課 ☎0225-54-3131

宅地整備支援

- 自宅の庭へのシンボルツリー植樹、芝の植え付けなどの緑化整備に要した費用の一部を助成(最大20万円)
- 東日本大震災後に町が整備した造成宅地に住宅を建築した際に、宅地内の高低

差対策や土砂流出防止のために擁壁を整備した場合、整備費用の1/2を助成(最大100万円)

■企画課 ☎0225-54-3131



医療費助成

- 0歳から18歳到達年度までの子どもの入院(食事代を含む)及び通院に係る医療費の自己負担額を助成
- ひとり親世帯の親及び子の医療費を一部助成
- 健康福祉課 ☎0225-54-3131

出産支援

- 特定不妊治療に要した費用の一部を助成
- 健康福祉課 ☎0225-54-3131
- 生涯、女川への思いを持ち続けてほしいという願いを込め、女川産材で作った子ども用の「輝望の椅子」をプレゼント
- 産業振興課 ☎0225-54-3131

育児費用負担軽減

- 同一世帯から2人以上が入所している場合、2人目の保育料は半額、第3子以降の保育料は無料(要件あり)
- ひとり親世帯、在宅障害児(者)のいる世帯の保育料を減額(要件あり)
- 健康福祉課 ☎0225-54-3131
- チャイルドシート購入費用の一部を助成(最大1万5千円)
- 町民生活課 ☎0225-54-3131

就学・教育支援

- 経済的理由により、小・中学校へ就学が困難な児童・生徒の保護者に対して、学用品費や学校給食費の就学費用を助成
 - 4歳から18歳までの間、学習塾や文化・スポーツ教室などに通う際の月謝の一部を助成(月最大5千円)
 - 本町の小・中学生が受検した漢字検定、英語検定、数学(算数)検定の受検料の一部または全部を助成
 - 高校生等が通学のために必要となる定期券または下宿に要する費用の一部を助成
 - 公共交通機関を利用して遠距離通学する本町の小・中学生の定期券代の一部を助成
- 教育総務課 ☎0225-54-3131



仕事

就職支援

- 対象となる資格(就労につながる国家・公的・民間資格または研修修了が資格と同等のもの)を取得した満15歳以上の町民の方へ、取得経費の一部を助成(上限10万円)
資格の例:大型自動車運転免許、小型船舶免許、介護職員初任者研修、玉掛け技能講習など
- 企画課 ☎0225-54-3131
- 町内に居住する求職者を対象に無料で職業紹介を行う紹介所を開設
- 産業振興課 ☎0225-54-3131

起業支援

- 本気で創業したい方向けに「創業本気プログラム」を実施し、地方で創業する全ての方を応援
- ※専用サイト 
- コワーキングスペース、創業支援、町民集いの場としての3つの役割を担う「女川フューチャーセンターCamass」を開設
- NPO法人 アスヘノキボウ
- ☎0225-98-7175
- ※専用サイト 

相談・体験

移住相談窓口

- 女川町への移住・定住に係る相談を随時受付関連する情報を集約し、ワンストップで対応
- 企画課 ☎0225-54-3131

オンライン移住相談窓口

- オンラインによる対面形式の移住相談を実施、NPO法人アスヘノキボウスタッフと町職員により、多角的な視点から対応
- ※ウェブサイトからの予約が必要
- 企画課 ☎0225-54-3131 

お試し移住プログラム

- 5日～30日、実際に女川に住んでみて、この町の人や雰囲気に触れながら「暮らす」「働く」そして「町の未来に関わる」という女川町ならではのライフスタイルを体感
- NPO法人 アスヘノキボウ
- ☎0225-98-7175
- ※専用サイト 

みなみさんりくちょう

南三陸町



■南三陸町暮らしのデータ

- 人口：12,650人
- 世帯数：4,500世帯
- 保育所の数：4所
- 小学校の数：5校
- 中学校の数：2校
- 病院の数：1院
- 一般診療所の数：3所

令和2年2月時点



お問い合わせ

●南三陸町企画課

☎0226-46-1371

〒986-0725 宮城県本吉郡南三陸町志津川字沼田101番地

ホームページ <http://www.town.minamisanriku.miyagi.jp>

森 里 海 ひと いのちめぐるまち 南三陸

南三陸町は、宮城県北東部に位置しリアス式海岸を有する自然豊かな海沿いのまちです。海のイメージが強いです。町の面積の77%が山林で、森と海に囲まれた里の暮らしでは自然との繋がりを強く感じられます。現在、一次産業では環境に配慮した資源循環型の新たな取り組みを進めており、その地域資源を活かした観光・体験交流事業などに多くの観光客が訪れています。南三陸町では新たな可能性を見つけ、チャレンジする方を応援します。



〈自然のキャンパス〉青い海に浮かぶ島、その海を包み込む緑豊かな山々



〈豊かな海の生態系〉ラムサール条約登録を目指す豊かな自然環境

▶ 動画もチェック!

南三陸町移住・定住支援センター で検索

🚗 生活交通情報

仙台市
との
距離感

- ・バス：約90分(宮城県庁～JR志津川駅(高速バス))
- ・車：約80分(仙台東IC(仙台東部道路)～南三陸海岸IC(三陸自動車道))

地域内の
移動手段

- ・バス：JRが運行するBRT(バス高速運送システム(前谷地～気仙沼間))に加え、町内を運行する南三陸乗合バス
- ・車：町内に4か所ある三陸自動車道ICまではそれぞれ数分。日常生活では自家用車の必要性が高い。

＼こんな人にちょうどいい!／

山も海も両方
楽しみたい方

自分の可能性を
見つけたい方

街づくりに
興味がある方

空き家情報

- 空き家バンクを開設し、町に登録している仲介業者が契約をサポート、最大70万円の空き家改修と不用品整理に使える補助金や仲介手数料助成など支援制度が充実
- 企画課 ☎0226-46-1371

住宅取得支援

- 若者の住宅取得を応援するため、40歳以下の子育て世帯や新婚世帯が住宅を建築または購入(中古を除く)した場合に最大100万円を補助(町の造成団地も好評分譲中)
- 企画課 ☎0226-46-1371

家賃補助

- 子育て世帯に月額2万円、その他世帯にも月額1万円を上限に最大24ヶ月分の家賃を助成
- 企画課 ☎0226-46-1371

住宅関連負担軽減

- 移住者向けに定住促進住宅を整備(家賃2万4千円~3万2千円)
- 建設課 ☎0226-46-1377

医療費助成

- こども医療費の助成により、18歳までの保険診療に係る医療費の窓口負担が保護者の所得に関わらず無料
- 母子・父子家庭医療費の助成により、18歳に達してから最初の3月31日までの間にある子を扶養する一人親家庭等に対して、医療費の自己負担金額が一定額を超える場合に助成
- 町民税務課 ☎0226-46-1372

出産支援

- 出産時に子育て応援券(商品券)を配布(第1子3万円、第2子5万円、第3子10万円)
- 特定不妊治療費助成(1回あたりの上限15万円)
- 保健福祉課 ☎0226-46-1402

育児費用負担軽減

- 保育料無償化に加え、3歳未満児についても軽減措置を拡充している(第2子半額、第3子以降無料)
- 保健福祉課 ☎0226-46-1402

相談・交流支援

- 町内3ヶ所に子育て支援センターを開設し、常時4名のスタッフが育児相談や親子クッキングなどイベントを開催、また、ママさんたちが企画する自主活動のサポートも実施
- 保健福祉課 ☎0226-46-1402

就学・教育支援

- 就学時に1万円分の子育て応援券(商品券)を配布
- 保健福祉課 ☎0226-46-1402
- 町内の公立高校(志津川高校)と連携し無料の学習支援センターを開設。講師が常駐し自律学習のサポートを受けられるほか、タブレットを活用したオンライン講座を受講可能
- 企画課 ☎0226-46-1371

仕事

就職支援

- UIターン者雇用奨励金により、移住者本人に対し、移住者の正規雇用を促進するための雇用奨励金を交付
- 南三陸町無料職業紹介所を開設し、専門の相談員による求人・求職に関する相談及び紹介(無料)
- 商工観光課 ☎0226-46-1385

起業支援

- 起業支援補助金制度により、地域の資源を活用して新たに事業を開始しようとする方を支援(開業準備経費及び施設設備費など補助：上限200万円)
- 商工観光課 ☎0226-46-1385

就農支援

- 新規就農者に青年就農給付金を支給
- 農林水産課 ☎0226-46-1378

その他

結婚支援

- 結婚相手紹介サービスを利用し、専任の婚活コンシェルジュとともに1年以内の成婚をサポート(入会金・活動サポート費を町が負担)
- 企画課 ☎0226-46-1371